



福島♡ささえ隊

## 地域の「青い救急団」をめざして



-アイウェル・サービス株式会社様-

皆さんは街を走る「青い救急車」をご覧になったことはありますか？

今回は、もしもの時に備えてぜひ知っていただきたい**民間救急(患者等搬送事業)**について、郡山市のアイウェル・サービス株式会社様にインタビューさせていただきました。

まず、民間救急とは、**国土交通省の許可・管轄する消防の認定を受けた事業者**が行う有料のサービスで、緊急性がない傷病者の方や寝たきりの方、身体に障がいがある方を対象に、寝たまの姿勢で搬送できるストレッチャーまたは車いすを備えた専用車両で搬送を行います(\*緊急車両ではないため、緊急走行、サイレンや赤色灯をつけての搬送はしません)。

搬送例として、病院の入退院や一時帰宅、病院から病院への転院に、福祉施設への送迎など。



**看護師が同乗**して、点滴や酸素の投与、たんの吸引などの**医療処置を継続しながら搬送**できることも特徴です。そのため、車内には高規格の医療資器材が標準装備されています。それだけでなく、尊い命をあずかっているという意識で患者さんになるべく負担をかけない安全で丁寧な運転をし目的地までお運びするという穂積社長の熱いモットーもお話から感じました。依頼するご家族にもきっと安心として伝わっていますね。

搬送は前提として**発着場所が福島県内**であればサービス利用が可能で近距離も長距離もOK。通常の移動が難しい方でも、アイウェル・サービスを利用することで行事への出席や旅行が可能になる場合もあります。サービスを利用して福祉施設に入所中のご家族も一緒に家族旅行ができた！など、**ご家族の思い出づくり**をお手伝いすることもあるそうです。事前予約制なので、予定に合わせられることも安心ですね。お話を伺うまでそんな用途もあるとは想像しませんでした。

最後に「救急団」とは…実は実在しない組織です。今回の取材でとても印象深いお話を伺い、この「青い救急団」というタイトルをつけました。現在それぞれの地域には消防団があり、消防・防火・災害時の地域活動をしています。しかし、救急に関して同様の組織はありません。救急車による救急搬送の件数は年々増え続けており、一刻を争う緊急時に救急車が不足する可能性も叫ばれています。そこにアイウェル・サービスは**民間における医療搬送の担い手**として、救急隊と同じレベルの機器を搭載し、医療処置・医療行為ができる体制で患者さんを搬送する。いわば救急団です。

**【地域貢献】**という穂積社長の言葉がいつまでも胸に残りました。現在は、出産時に安心♪な新たな移動手段「**マタサポ**」という新サービスもスタート。さらなる次のビジョンに向けての準備も進めていらっしゃるそうです！



アイウェル・サービス

検索

FROM-ZERO 通信は弊社のお取引先の皆様へ毎月配布させていただいている情報誌です。



office

ZERO

株式会社 オフィスゼロ

〒963-0201 福島県郡山市大槻町字下町 128

<http://www.office-0.co.jp/>

TEL 024-962-4709 FAX 024-962-4710



Web サイト ブログ